

平成 30 年度 第 1 回奈良 ESD 連続セミナー 概要報告

奈良教育大学 中澤静男

- ◇開催日時 平成 30 年 5 月 10 日 (木) 19 時～21 時 30 分
- ◇会場 次世代教員養成センター 2 号館
- ◇参加者 島俊彦 (郡山西小)、河野晋也 (附属小)、池見繁・西口美佐子 (奈良市教委)、
杉山拓次 (春日山原始林を未来につなぐ会)、中澤敦子 (きんき環境館)、
圓山裕史・大西浩明・阿彌茉央、池見幸恵 (飛鳥小)、中澤哲也 (平群北小)
青山真弓 (京都市環境保全活動推進協会)、蔵前拓也 (真美ヶ丘第一小)
新宮済 (平城小)、後藤田洋介 (大阪成蹊大)、高垣努 (愛媛大)
北村恭康・中澤静男 (奈良教育大)
糸綾香・丸本まりな・谷垣徹 (奈良教育大学) 計 21 名

◇内容

1. ESD マスター認定証の授与



大西浩明先生 (飛鳥小)



蔵前拓也先生 (真美ヶ丘第一小)



中澤哲也先生 (平群北小)

2. 今年度の連続セミナー実施計画 (中澤)

3. 春日山原始林をテーマとした授業づくりセミナーに関して

講師：杉山氏

特別天然記念物 古来ほとんどふえつを加えず 巨樹が多い
寒地性の種類に加え、亜熱帯の植生もよく保存
されている。照葉樹林。

生物の多様性などの価値が認められる。

自然遺産ではなく文化遺産 景観・文化的に価値が認められる

東大寺山塊四至図 (756 年) : 社殿はないが、神地として記されている

841 年に勅命により狩猟伐木を禁じられる

春日宮曼荼羅 (鎌倉時代) : 神仏習合 4 柱に如来・菩薩をあてている

大和名所図絵 (江戸時代) 紅葉が美しい場所として知られている

春日山の利用 花山 榊・シキミを採る

秀吉による 1 万本の植樹

台風・観光目的等で人の手が入っている。人の手が入ることによってよく保存されていると
ころに価値が見られる。



問題

- ・後継樹の生育不良 次の世代が育っていない。
- ・下層植生 下草がなくなってきている 鹿の影響
- ・ナギ・ナンキンハゼの拡大 ナギは熊野から移植されたもの
- ・ナラ枯れ被害の拡大

管理主体 奈良県 春日山原始林保全計画検討委員会 人やシカとも共生できる森林保全のための取組.

- ・ナギ数量調節
- ・ナンキンハゼの駆除
- ・ナラ枯れ防除対策
- ・後継樹育成
- ・保全の担い手の育成：春日山原始林を未来につなぐ会の活動
必要なのは、共感＝「自分ごと化」 多くの人が必要に思わないと守れない

4. ESD子ども広場に関する支援の依頼（丸本さん）



5. フィリピン・スタディーツアー報告会の案内(谷垣君)

6. ESDに関する解釈の変化（中澤）

持続可能な社会づくりの担い手を育成する教育から
持続可能な社会づくりの担い手育成を通して

SDGsの達成に貢献する教育へ

(1) MDGsとSDGsの比較

①解決したものと未解決なもの

新たに優先したいこと

平和でなくなっているのかも

②MDGsは途上国に焦点が当てられているが、SDGsでは先進国にも求めている

都市・平和

貧困・相対的貧困など

③MDGsは上から目線、SDGsは地球全体

(2) これからの世界遺産学習

◇教材化によって獲得できるESDの視点を明確にする

①多様性 時代にわたっている

責任性 自分が

連携性 みんなで

②責任性、公平性、多様性、相互性、循環性（有限性）

③連携性、公平性、有限性

◇その教材によって貢献できるSDGsは何か？

①貧困・飢餓、平和

②貧困、平和

③飢餓、健康・福祉、平和、働きがい

※教材のどこに焦点を当てるかで変わってくる

